

リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクロームブック活用」

【実施内容の具体】

- 1 学習課題を把握する。単元ごとに見通しをもたせ振り返りを行う学習計画シートを活用する。
- 2 次の①から③の学習形態の中で自ら学び方を決定する。
 - ①個別に「学習e-ポータル」内の動画説明を活用して、学習課題の学習を行う。
 - ②小グループで協働的に学び合って学習課題の学習を行う。
 - ③担当教員とともに学習課題の学習を行う。
- 3 各学習形態で自由進度学習を行う。
- 4 各自、振り返りを行い、自己評価する。



①個別に動画説明を活用した個別最適な学び



②数名で協働的な学び



③担当教員との学習

【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 自ら選択した学習形態により学習意欲が向上し、主体的な学習につながってきている。
- 2 学習e-ポータルなどを主体的に活用し、意欲をもって自学する生徒が増えてきた。
- 3 学習意欲に課題の見られた生徒についても自ら選択した学習形態で目的意識をもって学習するようになってきた。
- 4 授業において、協働的に学ぶ姿が増えるようになった。



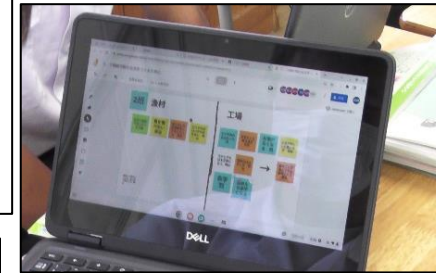
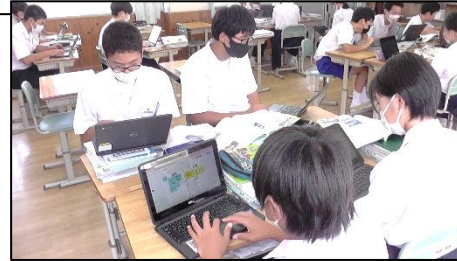
リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクロームブック活用

【実施内容の具体】

- 1 学習課題を把握する。
- 2 個の考えをジャムボードに出し合う。
- 3 班内で個の考えを交流して、それをグループ分けして班の考えをまとめる。
※それぞれの考えの違いを、色分けして示すことで分類しやすくする。
- 4 全体交流して学習課題の解決を図る。
※電子黒板に各班のジャムボードのまとめを出して全体共有を図る。



【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 ジャムボード等のアプリの使用について、生徒たちは、すぐに慣れて活用できる力をもっていることが分かった。
教師にとっては、生徒よりも慣れるのに時間がかかるが、以前は付箋を使って行っていた取組をクロームブック上に置き換えて行えばよいので、比較的スムーズに活用できるようになっている。
- 2 教科学習だけでなく、総合的な学習などでもジャムボードを使うことで、個の考えや集団の考えを共有して深めることが容易にできるようになった。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）

【取組内容②】 インターネット上の動画教材や、授業において動画撮影した動画の活用授業の実施

【実施内容の具体】

- 小単元の学習を終えた後の学習内容の定着を図る学習において、タレントによるクイズ動画を活用する。

【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 タレントによる学習動画は、生徒にとって興味・関心が高まり、学習内容の定着にも効果が見られた。
- 2 教員同士でこのような動画教材を見つけることにもつながり、授業の工夫の幅が広がった。



学習に関するクイズ動画

【実施内容の具体】

- 1 実技教科において、学習課題を把握する。
- 2 2人から数名の小グループをつくり、各自の実技の演技をクロームブックでお互いに撮影し合う。
- 3 授業の終了までに各自が実技動画を担当教員に提出する。

【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 体育科の実技指導において、授業内に自分の実技を動画で視聴することで、客観的に自分の課題を見付け、解決するための方策を協働的に学び合うことができた。
- 2 時間内に自分の納得した実技動画を提出することから、課題を確認しながら何度も実技を行い、主体的な学習につながった。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

江田島市立大柿中学校（広島県）

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

【実施内容の具体】

- 1 端末（クロームブック）の持ち帰りによる学習
学校で行っているクロームブックを活用した学習を家庭学習で活用させる。
 - ①授業の予習・復習
 - ・クラスルーム内にあるデータやインターネットを活用した調べ学習。
 - ・学習e-ポータルによる学習内容の動画の活用。
 - ②学習面のサポートを意図したオンライン上での認知機能トレーニングなどの実施。



学習e-ポータルを活用した学習

【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 実技教科において、事前に実習内容や実技テストの動画をクラスルームに投稿し、予習を行えるようにすると、事前に動画で手順や方法などを自主的に予習して、実習をスムーズに行うことができた。
- 2 家庭学習における学習e-ポータル等の活用や、学校での授業のつながりを持たせる効果が見られた。
- 3 オンライン上で認知機能トレーニングを行う生徒が増えてきている。



認知機能トレーニングの取組

【取組内容④】 職員の情報共有のための活用、アンケート等での活用

【実施内容の具体】

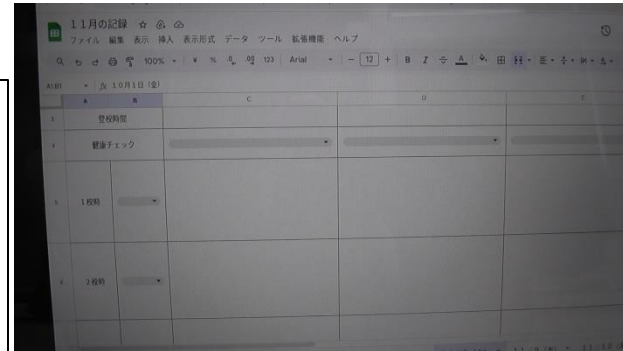
- 1 朝の会で行う健康観察をクロームブックで行う。
- 2 別室登校生徒（SSR教室在籍生徒）の登校状況や、別室での活動状況などの記録をクロームブック内に記入し、教職員の情報共有を図る。
- 3 児童生徒のいじめ・体罰・セクハラに関するアンケートなどをクロームブックで行う。



朝の健康観察

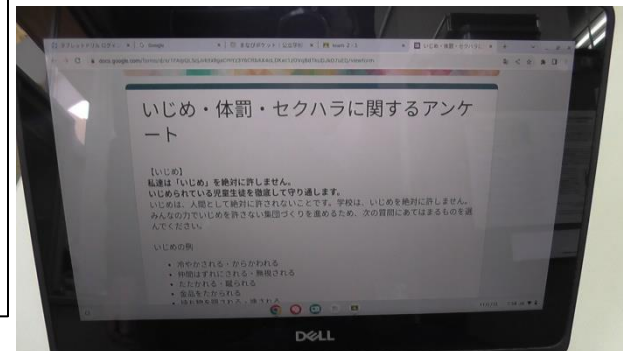
【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 朝の会の始まる前から、生徒たちは個別に健康観察をクロームブックで行うことが習慣になり、全体の生徒の健康状態の把握と内容の集計が容易にできるようになった。
- 2 別室登校の生徒の活動状況がいつでも閲覧して確認できるようになった。このことで、関係教職員で各生徒に応じた指導について随時協議して組織的な取組につなげることができるようになった。
- 3 アンケート等の取組をクロームブックで行うことで、提出状況の把握や内容の把握を迅速に行うことができ、用紙で行っていたころよりも早期対応することができるようになった。



別室登校生徒の活動記録の様式

クロームブックの教師用クラスルームで共有



いじめ・体罰・セクハラに関するアンケート